

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
企画部	企画・国際課国際室	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	19	国際化の推進に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	47,217千円	49,279千円	48,587千円	0千円
総人件費	16,141千円	23,355千円	22,447千円	
総事業コスト	63,358千円	72,634千円	71,034千円	

事務事業名	01 多文化共生推進事業			指標名	事業の実施数				指標種別	成果指標				指標の概要					
	戦略プラン	4	3	国際化の推進	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	市及び(一財)つくば市国際交流協会が行う多文化共生事業の実施数(市内国際交流活動のみ)						
				実績	15事業	16事業	16事業	17事業	17事業	17事業	17事業	17事業							
総合戦略	-	-	-	16	国際化の推進								その他の指標	-					
個別計画	つくば市国際化基本指針及びつくば市科学技術振興指針			改善目標	H27年度 (一財)つくば市国際交流協会の活動内容を市民に広くPRするため、会報等の配布や市HP等で広報する。				改善目標	H28年度 引き続き、(一財)つくば市国際交流協会の活動内容等を市民に広くPRするため、会報等の配布や市HP等で広報する。また、つくばワールドフットサルへの外国人参加率を30%にする。				事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初	
根拠法令等	一般財団法人つくば市国際交流協会補助金交付要綱			事業計画	(一財)つくば市国際交流協会ほか関係団体との連携事業 ・国際交流フェアの開催 ・つくばワールドフットサル2015の開催 ・外国人のための相談室事業 ・外国人スピーチコンテストの開催				事業計画	(一財)つくば市国際交流協会ほか関係団体との連携事業 ・国際交流フェアの開催 ・つくばワールドフットサル2016の開催 ・外国人のための相談室事業 ・外国人スピーチコンテストの開催 ・外国人による日本語弁論大会(H29)の開催準備				事業費(A)	34,484千円	35,280千円	35,340千円	0千円	
事業分類	E 補助金・負担金事業			活動実績	(一財)つくば市国際交流協会に補助金を交付し、協会活動の側面支援を行った。 ・国際交流フェア:外国料理等テント出店が24団体。 ダンス等のステージ発表が11団体。 ・つくばワールドフットサル2015:実行委員会を合計7回開催した。サブグラウンドを活用するなど、より多くの市民が参加しやすく楽しめる企画を盛り込んだ。				上半期活動実績	-				内訳	国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
執行体制	補助金(直接)			成果	11月29日に開催した、つくばワールドフットサル2015の参加者が、431人(うち外国人28か国84人/外国人参加率19.5%)で過去最高となった、 参考 平成26年度実績:参加人数383(うち外国人27か国70人/18.3%)				上半期成果	-				県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の目的	(一財)つくば市国際交流協会が実施する各種事業を補助するとともに関係団体と連携し、外国人市民の生活支援や外国人と日本人の交流機会の拡大を図るため。			課題	・補助金に頼らない(一財)つくば市国際交流協会の自主運営が理想であるが、収入源である賛助会員数が伸び悩んでおり、その実現が難しい。 ・つくばワールドフットサルについて、参加者数は伸びているが外国人参加率がなかなか向上しない。				課題	-				地方債	0千円	0千円	0千円	0千円	
事業の概要	協会単独事業 ・外国人住民が日本語を話したり、日本文化に触れることができるイベント ・医療通訳ボランティアのスキルアップ研修 市その他関係団体との連携事業 ・国籍を越えた市民交流を推進するためのイベント等			事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-	その他の特財	0千円	0千円	0千円	0千円			
ISO 14001 環境性	-	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている		評価	有効性	-		一般財源	34,484千円	35,280千円	35,340千円	0千円			
					効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-		人件費(B)	3,936千円	6,211千円	6,024千円				
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-		正職員	従事割合	0.50人	0.80人	0.80人			
												時間外勤務	51.00時間	100.00時間	30.00時間				
												臨時職員等	無	無	有				
												事業コスト(A+B)	38,420千円	41,491千円	41,364千円				
												H29年度当初積算根拠	-	-	-	-			
												H29年度の方向性	-	理由	-	-			

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	47,217千円	49,279千円	48,587千円	0千円
総人件費	16,141千円	23,355千円	22,447千円	
総事業コスト	63,358千円	72,634千円	71,034千円	

部等名	課等名	係等名
企画部	企画・国際課国際室	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	19	国際化の推進に要する経費

事務事業名	02	国際交流員・留学生交流員事業		指標名	通訳対応件数				指標種別	活動結果指標				指標の概要	理由
		4	3	国際化の推進	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	指標の概要	理由		
戦略プラン				4	3	国際化の推進	250件	350件	350件	350件	350件	350件	350件		
総合戦略				1	6	国際化の推進	349件	470件	-						
個別計画						つくば市国際化基本指針及びつくば市科学技術振興指針									
根拠法令等						つくば市嘱託員設置規則									
事業分類						A 任意的事業									
執行体制						職員のみ									
事業の目的						外国人が生活する上で、言語や社会制度の違いから生じる不便・不安を軽減するとともに、日本人市民の国際理解を深め国際社会適応力の育成を図るため。									
						活動実績									
						成果									
						課題									
事業の概要						来庁した外国人の通訳及び案内を行う。 市が発行する文書や冊子等の翻訳を行う。 市が携わる国際交流事業に係る調整及び通訳・翻訳を行う。 留学生交流員を委嘱し、6か国語の外国語広報紙を発行する。 青少年の国際感覚の醸成のため国際理解講座を実施する									
						改善目標									
						事業計画									
						活動実績									
ISO 14001 関連性						有効性	中：適切な成果が得られている								
						効率性	中：適切な費用対効果が得られている								
						総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施								
						評価									

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
事業費(A)	6,075千円	6,165千円	6,023千円	0千円
国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
一般財源	6,075千円	6,165千円	6,023千円	0千円
人件費(B)	6,075千円	7,428千円	7,428千円	
正職員	従事割合	0.80人	1.00人	1.00人
内訳	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間
	臨時職員等	有	有	有
事業コスト(A+B)	12,150千円	13,593千円	13,451千円	

H29年度当初積算根拠	理由
H29年度当初積算根拠	理由

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	47,217千円	49,279千円	48,587千円	0千円
総人件費	16,141千円	23,355千円	22,447千円	
総事業コスト	63,358千円	72,634千円	71,034千円	

部等名	課等名	係等名
企画部	企画・国際課国際室	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	19	国際化の推進に要する経費

事務事業名	03 国際化教育支援事業			指標名	補助対象学校の児童・生徒数				指標種別	成果指標	指標の概要				
	4	3	国際化の推進	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度					
戦略プラン	4	3	国際化の推進	目標値	120人	130人	150人	160人	170人	180人	190人				
総合戦略	1	6	国際化の推進	実績	129人	153人	-								
個別計画	つくば市国際化基本指針及びつくば市科学技術振興指針			改善目標	H27年度				H28年度						
根拠法令等	つくば市国際化教育事業補助金交付要項			事業計画	国際バカロレア又はこれに準ずる国際基準の認定を受けた学校の、当該教育プログラムに係る経費に対し、補助金を支出				国際バカロレア又はこれに準ずる国際基準の認定を受けた学校の当該教育プログラムに係る経費に対し、補助金を交付						
事業分類	E 補助金・負担金事業			活動実績	つくばインターナショナルスクールの国際バカロレア教育課程に要する経費に対し、補助金を交付した。				上半期活動実績						
執行体制	補助金(間接)			成果	生徒数の増加(129人 153人)に少なからず寄与した。				上半期成果						
事業の目的	国際基準の認定を受けている市内の各種学校を支援することで、市の国際化教育の環境の充実を図るとともに、外国の優秀な研究者の招致を容易にするため。			課題	支援方法を再検討する必要がある。				課題						
事業の概要	国際バカロレア又はこれに準ずる国際基準の認定を受けた学校の当該教育プログラムに係る経費に対し、補助金を支出する。			事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	-	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-				
ISO 14001 関連性	-	-	-	評価	有効性	中:適切な成果が得られている			有効性	-					
					効率性	中:適切な費用対効果が得られている			効率性	-					
					総合評価	B:成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施			総合評価	-					
											事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
											事業費(A)	4,000千円	4,000千円	4,000千円	0千円
											国庫支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
											県支出金	0千円	0千円	0千円	0千円
											地方債	0千円	0千円	0千円	0千円
											その他特財	0千円	0千円	0千円	0千円
											一般財源	4,000千円	4,000千円	4,000千円	0千円
											人件費(B)	1,519千円	1,486千円	1,486千円	
											正職員	従事割合	0.20人	0.20人	0.20人
											正職員	時間外勤務	0.00時間	0.00時間	0.00時間
											臨時職員等	無	無	有	
											事業コスト(A+B)	5,519千円	5,486千円	5,486千円	
											H29年度当初積算根拠	-			
											H29年度の方向性	-	理由	-	

予算事業別事務事業評価シート【対象年度：H27年度～H28年度】

部等名	課等名	係等名
企画部	企画・国際課国際室	-

会計	款	項	目	事業	予算事業名
01	03	01	10	19	国際化の推進に要する経費

事業実施コスト	H26年度決算	H27年度決算	H28年度当初	H29年度当初
総事業費	47,217千円	49,279千円	48,587千円	0千円
総人件費	16,141千円	23,355千円	22,447千円	
総事業コスト	63,358千円	72,634千円	71,034千円	

事務事業名	04	姉妹・友好都市交流事業	指標名	姉妹都市・友好都市交流事業の参加者数				指標種別	成果指標	指標の概要	姉妹都市・友好都市交流事業に係るつくば市側の参加者数											
			目標値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度			H32年度										
戦略プラン	-	-	-	50人	60人	60人	60人	60人	60人	60人												
総合戦略	-	-	-	実績	53人	16人	-															
個別計画	つくば市国際化基本指針及びつくば市科学技術振興指針		H27年度				H28年度				その他の指標	-										
			改善目標	現在のところ、電子メールによる交流が活発化しているが、新たな交流も見出す必要がある。				改善目標	・米国、仏国の姉妹都市との新たな市民交流を見出す。													
根拠法令等	-		事業計画	・米国アーバイン市及びミルピタス市とのE-mail事業の実施 ・ハイレベルフォーラムがつくば市で開催されることに合わせ、仏国グルノーブル市関係者との姉妹都市交流の実施 ・中国深圳市のハイテクフェアにベンチャー企業とともにブース出展				事業計画	・米国アーバイン市及びミルピタス市とのE-mail事業に加え、ITを活用した新たな交流の実施。 ・ミルピタス市については、交流20周年記念事業を開催。 ・仏国グルノーブル市、ダイバーシティへの市民派遣。 ・中国深圳市との総体的な交流の継続（訪問団受入れ、市議会相互の覚書締結、大学生夏キャンプ、中国ハイテクフェアへの出展等） ・韓国テジョン市との交流再開													
				活動実績	・米国ミルピタス市と高校生相互でE-mail事業を実施。 ・中国深圳市竜崗区から訪問団5人が来市し、ITセキュリティについての研修や（一財）つくば市国際交流協会視察を実施した。（9/25-26） ・中国深圳市で開催された中国ハイテクフェアに、市内企業とともにブースを出展した。（11/15-18）				上半期活動実績	-												
事業分類	A 任意的事業		成果	・米国E-mail事業参加者13人（つくば市側） ・中国ハイテクフェアに出展した企業の製品は現地で高評価を得た。（11/15-18）日本企業3名参加				上半期成果	-													
執行体制	職員のみ		課題	・市民相互の交流内容がマンネリ化しつつある。				課題	-													
事業の目的	教育や文化、経済交流など、姉妹・友好都市を含む海外都市との交流を推進することで、つくば市の特性をいかした事業展開を図るため。		事業の進捗状況	達成	目標の進捗状況	未達成	事業の進捗状況	-	目標の進捗状況	-												
事業の概要	・教育・文化・経済面で交流する ・訪問団の派遣、受入れを行う ・相互の行政視察を行う		評価	有効性	中：適切な成果が得られている				評価	有効性	-											
ISO 14001 関連性	環境性	-	評価	効率性	中：適切な費用対効果が得られている				評価	効率性	-											
			総合評価	B：成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施				総合評価	-													
			事業実施コスト				H26年度決算				H27年度決算				H28年度当初				H29年度当初			
			事業費(A)				2,658千円				3,834千円				3,224千円				0千円			
			国庫支出金				0千円				0千円				0千円				0千円			
			県支出金				0千円				0千円				0千円				0千円			
			地方債				0千円				0千円				0千円				0千円			
			その他特財				0千円				0千円				0千円				0千円			
			一般財源				2,658千円				3,834千円				3,224千円				0千円			
			人件費(B)				4,611千円				8,230千円				7,509千円							
			正職員				従事割合				0.50人				1.00人				1.00人			
			正職員				時間外勤務				300.00時間				300.00時間				30.00時間			
			臨時職員等				無				無				有							
			事業コスト(A+B)				7,269千円				12,064千円				10,733千円							
			H29年度当初積算根拠				-				-				-				-			
			H29年度の方向性				-				理由				-							